

NPO法人教育支援ネットワークとらすと 主催研修会

教育相談スキルアップ講座 「資源調整アプローチ」

「資源（リソース）」はソーシャルワークや心理学で用いられる概念です。「資源調整アプローチ（リソース・コーディネーション・アプローチ）」はその概念を体系化したもので、当法人が提唱するオリジナルの方法論です。子どもをとりまく資源の状態を分析しそのバランス回復を図ることで、不登校などの課題の改善を目指します。非常に理解しやすく実践的で、特に「教師が学校という場で子どもの援助を行う」際に効果を発揮することが期待できます。

資源調整アプローチの特徴

- 初心者でも理解しやすく実践的です。
- 支援者の負担減が図れます。
- 様々な応用が可能です。
〈詳細は裏面参照〉

平成 30 年 6 月 10 日(日)～8 月 11 日(土) (3 回連続)

会場：熊本市男女共同参画センターはあもにい

アウトライン

- 会場
熊本市男女共同参画センターはあもにい
研修室 C
熊本市中央区黒髪 3 丁目 3 番 10 号
- 対象および人数
教育に携わっておられる方
各回とも 20 名程度
- 参加方法
3 回連続の内容です。できるだけ 3 回とも受講してください。
第 1 回、第 2 回は単独での受講もできます。
第 3 回の受講は、第 1 回と第 2 回を受講されていることが条件です。
- 受講料
1 回 5,000 円（3 回 15,000 円）

お申込み

- 当法人ホームページの「主催研修会」ページよりお申込みフォームに必要事項を入力してください。
<https://kyoiku-shien.org>
- 締切：6 月 8 日（金）
- 後日受講料の振込先（ゆうちょ銀行）をお知らせします。振込手数料は各自ご負担ください。
申込み多数の場合には先着順とさせていただきます。

プログラム

（内容は若干変更される場合があります）

第 1 回 6 月 10 日（日）9:45～11:45
「資源調整アプローチの概要」
資源調整アプローチの概要と現代の課題、バランス回復の方法について考えます。（※単独受講可）

第 2 回 7 月 8 日（日）9:45～11:45
「資源と家族」
家族内において資源がどのように使われ、子どもの課題として現れるかについて考察します。（※単独受講可）

第 3 回 8 月 11 日（土）9:45～11:45
「事例検討」
事例を通して理解を深めると同時に校内で行う事例検討の方法を習得します。（※第 1 回と第 2 回の受講者のみ受講可）

講師

豊永亨輔（とよながこうすけ）
NPO法人教育支援ネットワーク
とらすと代表理事。学校心理士。
上級教育カウンセラー。
〈略歴は裏面参照〉



NPO法人
教育支援ネットワークとらすと

〒861-1112

熊本県合志市幾久富 1909 番地 1220

<https://kyoiku-shien.org> 〈詳細は裏面参照〉

* お問合せ：ホームページよりメールにてお願いします。



資源調整アプローチ

人が持つ「資源」とは「能力」と「時間」を意味します。仕事・家事・子育てなど、社会的な活動はすべて資源を使って行われます。子どもが健全に発達するためには、次のような要素が必要です。「親子での落ち着いた交流」「祖父母・きょうだい・学校の友達や先生・地域社会の人々など多様な人との交流」「自然との触れ合いなど知的発達や情緒的発達を促す環境」などです。これらがすべて子どもの発達を促す資源として機能します。

子どもが不登校などの課題を抱えている場合、子どもに与えられるべき資源が不足していることが原因ととらえることができます。「資源調整アプローチ」は、子どもをとりまく資源の状態を分析し、そのバランスを回復させることで状態改善を図るものです。

この方法論においては、子どもをとりまく家庭や学校といった様々な資源を活用することが効果的であると考えられます。教師は学校においてそのためのキーパーソンとして機能することが最も期待される立場にあります。同時に個々の支援者にかかる負担を軽減することができます。資源調整アプローチのもつこれらの特徴は、近年文部科学省が提言している「チーム学校」という理念とも合致するものです。

NPO法人教育支援ネットワークとらすと

平成 29 年 7 月設立。主催研修会・講師派遣・個別相談などを通して、学校の先生方をはじめとする教育に携わる方々のスキルアップを支援する NPO 法人です。不登校やいじめをはじめとする学校教育における課題に対処するために、新しい視点からのアプローチを提言します。子どもたちの健全育成に少しでも寄与できることを願い日々活動しています。

<https://kyoiku-shien.org>



講師略歴 豊永亨輔（とよながこうすけ）

昭和 59 年より 34 年間熊本県の県立高校教諭として勤務。うち通算 23 年間教育相談を担当。カウンセリングや心理療法の方法論に、独自の視点も加味し、学校における教育相談の有効な方法論の確立に取り組む。熊本県内の教育センター研修や校内職員研修やなどの講師を務める。平成 27 年熊本県教育功労（優秀教職員）表彰（実践分野：生徒指導）。平成 28 年文部科学大臣優秀教職員表彰（実践分野：生徒指導）。平成 29 年 7 月 NPO 法人教育支援ネットワークとらすと代表理事。平成 30 年 3 月県立学校退職。学校心理士。上級教育カウンセラー。